



谷原小だより 4月号

平成 23 年 4 月 6 日
練馬区立谷原小学校
校長 眞瀬 敦子

再生のために

校長 眞瀬 敦子

大震災の被害者を悼んで固く閉じていた桜のつぼみも、4月に入ってほころび始め、子供達の入学、進級を祝ってくれています。被災地の子供達にも、少しでも明るい春が来ることを、心より願っております。

また、東日本大震災で亡くなった方のご冥福をお祈りすると共に、その後の福島原発で罹災された方々も合わせて、一日も早い復興を念じております。東京に住む私達も、同じ日本という国に暮らす一員として、この国の再生のために、例え僅かでもできることを一つ一つ実行していくことをお約束いたします。

新1年生 72 名を迎え、新学期が始まりました。改築工事の開始を 6 月に控え、今年は谷原小にとっても再生への最初の年となります。平成 24 年 12 月の校舎完成まで、全校児童 494 名の安全と、楽しい学校生活のために、全教職員で力を合わせていきます。

大震災から復興する、これからの日本の未来を切り開いていくのは、この子供達です。本校の教育目標「よく考える子・思いやりのある子・たくましい子」の育成は、まさにこれからの日本のために欠くべからざる大切な仕事です。子供達の教育に携わる者として、改めてその責任の重さと遣り甲斐とをひしひしと感じております。

谷原小の教育に今までも増して、保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

今年は、新学習指導要領全面実施の年でもあります。

子供達が持ち帰った教科書の厚さに、びっくりなさった方も多いかと思いますが、新しい教科書は隅から隅まで全部指導するというものではありません。

新学習指導要領の趣旨は、生きる力の育成、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等のバランスの取れた育成、道徳や体育の充による豊かな心・健やかな体の育成にあります。

そのために、学校・学級の実態に応じた学習が展開できるような作りになっているのです。年間計画と子供達の実態とを見ながら、教科部会や学年で相談して学習を進めていきますので、ご安心ください。

ありがとうございました

児童の発案による、東日本大震災への義援金は、たった一日と卒業式受付での募金だったにもかかわらず、**170,312 円**ものお金が集まりました。早速練馬区の受付に持参し、日本赤十字社に届けていただくことになりました。「何か私達にできることをやりたい」という子供達の気持ちが、こういう形になって表れたことを、大変嬉しく思います。ご協力有り難うございました。